

文芸さんむとは・・・

「文芸さんむ」の前身は、旧山武町の文集「すぎの実」である。その創刊号までには、こんな経緯があった。「すぎの実」は長年に亘り町民生活に根差し、愛読されてきた存在だったが、山武市の発足により惜しまれつつ廃刊になった。

その後、「再び文集を」と、「すぎの実」関係者を中心とした方々の熱意と努力の継続が文集復活の決定に結実し、平成二十二年二月、新しい市民文集「文芸さんむ」として生まれ変わった。

文集の主管は生涯学習課で、「この気持ちを伝えたい」をスローガンに、市民なら誰でも自由に投稿でき、文芸を通じて研鑽・交流を図り、市民文化の向上と継承に繋げることが趣旨である。

文芸さんむ応募要項

1. 作品ジャンル【複数ジャンルの応募可】

○短歌（7首限定）○俳句（7句限定）

○川柳（7句限定）○エッセイ（ひとり1作品のみで、原稿用紙8枚以内）

○評論（ひとり1作品のみで、原稿用紙10枚以内）

○短編小説（ひとり1作品のみで、原稿用紙15枚以上25枚以内）

○詩（1作品につき原稿用紙4枚以内。ひとり2作品まで。）
※原稿用紙の枚数及び応募作品数は必ずお守りください。

2. 応募資格【18歳以上】

◆山武市民（元市民も可）

◆市内在勤者（元市内在勤者も可）

◆市内在学者（元市内在学者も可）

◆市内短歌会員・俳句会員

3. 注意

① 投稿作品は文芸さんむに掲載されます。ただし、応募数や内容によっては編集委員会議で検討し、掲載の制限をさせていただきます。なお、投稿された内容が本誌の作品ジャンルに合わない場合や字数がオーバーする作品は掲載できませんので、ご了承ください。

② 各ジャンルの作品は、1話完結するものとし、連載となる作品は掲載しません。

③ 原稿について編集委員からお電話をする場合があります。

④ 写真や図は掲載しません。

⑤ 作品が掲載された方の文集は、原則窓口にて配布します。なお、窓口でのお受取りが困難な場合は、投稿時に生涯学習課にお申し出ください。

⑥ 掲載された原稿は、普及の趣旨から各機関からの依頼による公表や市ホームページ等に掲載することを承諾ください。

4. 応募先・応募方法

① 山武市教育委員会生涯学習課（〒289-1345 山武市津辺262-1）まで、原稿と応募用紙をご持参またはご郵送ください。

② 応募期間：5月～9月2日（火）（必着）

※応募期間外の投稿は受け付けませんので、ご注意ください。
市広報紙やホームページ等で最新の情報をご確認ください。

④																			
作品タイトル																			
										殿台 生涯 太郎									
≪投稿のきまりごと≫																			
① 作品は未発表のもの。																			
② 各ジャンルの作品は、一話完結するものと																			
し、連載となる作品は掲載しない。																			
③ B4サイズ四〇〇字詰め原稿用紙に縦書に																			
清書すること。パソコンやワープロの場合は、																			
原稿用紙ウイザードの四〇〇字詰め原稿用紙																			
に設定すること。																			
④ 作品の冒頭に、タイトル・地区名・氏名ま																			
たはペンネームを明記すること。																			
⑤ 引用文献や出典は、作品の最後に必ず明記																			
すること。																			
⑤																			
参考文献や出典など																			
・タイトル名 著者名 出版社名																			
・タイトル名 著者名 出版社名																			

20×20

文芸さんむ応募用紙(1 作品につき 1 枚提出)

ジャンル	原稿 枚数	枚	作品 タイトル	
ふりがな			ペンネーム (希望者のみ)	
氏 名				
年 齢	☐ 18歳～29歳 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代 ☐ 90代 ☐ 100歳～			
住 所	〒 ー	電話番号		

◎市外の方へ・・・ 右のいずれかにチェックし、名称 を明記してください。	☐ 元山武市民	☐ (元)市内在勤	☐ (元)市内在学
	☐ 市内短歌会所属	会の名称:	
	☐ 市内俳句会所属	会の名称:	

※応募期間は山武市広報・ホームページ等でご確認ください。

編集後記

『文芸さんむ』十六号をお届け致します。

今号には六十三名の方々より七分野にわたり八十三篇の力作をご寄贈いただきました。

編集委員一同深く感謝申し上げます。

昨年はいろいろなことがありました。元日の大地震、九月の豪雨災害及び各地の記録的な猛暑など例年とは異なる地球環境に入ったことを実感させられました。

またパリ五輪、石破政権の発足さらに秋には「日本原水爆被害者団体協議会」の「ノーベル平和賞」の受賞など歴史的な年でした。田中熙巳^{てらみ}氏の「人類が核によって自滅することのないように」との受賞式での言葉が強く心に残りました。

一方わが市に於いては大きな災害もなく、米の収穫も良好であり「さんむ医療センター」の移転オープンがありました。

このような中、創刊以来毎年寄稿されている方々及び今回初めて寄稿くださった方々他すべての皆様の「今の思い」がこの文集に刻まれ、歴史の一端となっていくことでしょう。

次号へのご寄稿を心からお待ちしております。

終わりに巻頭言を戴いた山武市社会教育委員長の北田玲子様、表紙絵の成東東中学校の柏熊大地さん、中扉の仏像

作品を紹介して下さった「仏像謹刻会」の皆様、編集実務を担当して下さった生涯学習課の皆様他ご協力下さいました多くの方々にご心より御礼申し上げます。
(今関)

——編集委員をやってみませんか——

多い時には十六名の編集委員がおりましたが、高齢・健康状況等の事情により現在は十名と手薄の状態です。特に松尾・蓮沼地区には一人ずつしかおらず、ギリギリの人数で編集の仕事を進めています。

実働期間は、九月から三月までの半年間、五回の編集会議と必要に応じての部門別の校正点検が主な仕事です。

新風を吹き込み活性化を図る意味で、ぜひ新しい編集委員の方々の参加を待ち望んでいます。

希望される方は、生涯学習課までご連絡ください。編集委員会にて正式決定します。

山武市市民文集 文芸さんむ ― 第十六号 ―

編集委員

- ・工藤 進（編集委員長）
- ・秋葉 重一
- ・今関 恵子
- ・鵜澤 美知子
- ・大掛 史子
- ・川島 隆
- ・佐瀬 智
- ・高浦 なみ子
- ・竹内 克隆
- ・立川目 陽子

- （題 字）中野 日賀
- （表紙絵）柏熊 大地（山武市立成東東中学校三年）
- （タイトル 先入観）
- （中 扉）協力 仏像謹刻会

ご感想やご意見をお寄せください

皆様のご感想やご意見を参考にしてより良い文集に育てたいと存じます。文集全体に関わること、ジャンル別、作品別等々貴重なご意見ご感想をお待ちしています。

提出先 山武市教育委員会 生涯学習課

山武市津辺二六二― 成東中央公民館内

電 話 〇四七五―八〇―一四五―

FAX 〇四七五―八二―二〇五八

メール shogaigakushu@city.sannu.lg.jp

山武市市民文集

文芸さんむ ― 第十六号 ―

令和七年二月発行

編集

山武市市民文集編集委員会

発行

山武市教育委員会

山武市津辺二六二―

成東中央公民館内

〇四七五―八〇―一四五―

印刷

山武印刷有限会社